



# 池上本門寺と

## せいしょうこう 清正公

清正公堂再興記念  
霊宝殿特別展

### 【開催期間】

令和6年6月23日～7月28日

6月は日曜日開館

7月は土・日・祝日開館

### 【拝観料】

大人

300円

小人（中学生）

200円



Ikegami Honmonji  
Treasure Museum

# 池上本門寺と清正公

清正公堂再興記念  
靈宝殿特別展

織豊期を代表する武将の一人である加藤清正公は、

熱烈な法華信者であったことでも知られます。清正公を守護神として信仰する「清正公信仰」<sup>せいしょうこうしんじょう</sup>は清正公死後ほどなく熊本に興り隆盛を見ますが、当山は、江戸及びその近郊における清正公信仰の霊場の一つとして知られた寺院でした。

本門寺の清正公信仰は、清正公二百遠忌を経た江戸時代後期より昭和初期にかけて隆盛します。当山が清正公信仰の霊場となった背景には、清正公を初代とする肥後加藤家と、信仰を介した直接的な関わりを有したことが挙げられ、中でも清正公が本門寺に巨大な大堂（祖師堂）と正面参道の石段である「此経難持坂」を造立寄進したと伝承されていることは、本門寺の大きな由緒となっています。

本展では、清正公・肥後加藤家の外護から近代に至る、本門寺と「清正公」との関わりについて、霊場に発展する由縁と清正公堂の成立・隆盛の経緯を、関係寺院等のご協力を仰ぎ、御霊宝を通して見ていきます。



清正公絵像（池上山内版）  
近代・19～20世紀 当山蔵

2024  
6/23  
▼  
7/28

【開館日】  
土・日・祝日

【時間】  
10:00-16:00

【拝観料】  
大人 300円  
小人 200円  
小学生以下無料

池上本門寺  
靈宝殿

東京都大田区  
池上1-1-1

03-3752-2331



詳細は web サイトへ



瑶林院芳心院願経  
万治元～3年（1658～60）東京・朗暉寺蔵



加藤忠廣書状  
江戸時代・17世紀 当山蔵

◎主な展示品



清正公供養塔（パネル）  
慶安2年（1649）当山蔵



日遙聖人筆曼荼羅本尊  
慶安元年（1648）鎌倉・比企谷妙本寺蔵



日延聖人筆曼荼羅本尊  
寛永7年（1630）個人蔵



池上山内略図（池上本院版）  
明治時代・19世紀末 当山蔵



清正公手形絵札（池上山内版）  
江戸～明治時代・19世紀 当山蔵



清正公堂再建棟札  
昭和27年（1952）当山蔵